2027年3月期　第2四半期決算説明会

2026年10月30日

株式会社エンプラス

（東証プライム　6961）

Copyright ©2026 ENPLAS CORPORATION, All rights reserved

目次

決算概況

- 決算のポイント
- 2027年3月期 第2四半期 決算説明

中期経営計画 -2nd roll-（4月からの変化点）

2027年3月期 業績見通し

参考資料

Copyright ©2026 ENPLAS CORPORATION, All rights reserved

決算概況

Copyright ©2026 ENPLAS CORPORATION, All rights reserved

決算のポイント

2027年3月期　第2四半期　損益実績

- 前年同期比で**大幅増収増益**（売上高+31.4%、営業利益+62.2%）

Semiconductor事業　過去最高

- 2Qはサーバー用途の売上が**大幅に増加（ASIC関連の本格量産開始）**

Life Science事業

- 一部量産品の生産終了および顧客の在庫調整が継続し、減収（既存製品は堅調）

Digital Communication事業

- 2Qは1.6T光トランシーバー用レンズの出荷数量の増加により1Q比増収
- レンズコネクタ関連の新規製品の立ち上げは2028/3期の見通し

Energy Saving Solution事業　過去最高水準

- 自動車用部品は、当社が注力する**低騒音・高効率ギヤソリューションビジネスの拡販**により好調

Copyright ©2026 ENPLAS CORPORATION, All rights reserved

2027年3月期　第2四半期損益実績(連結)

(単位: 百万円)

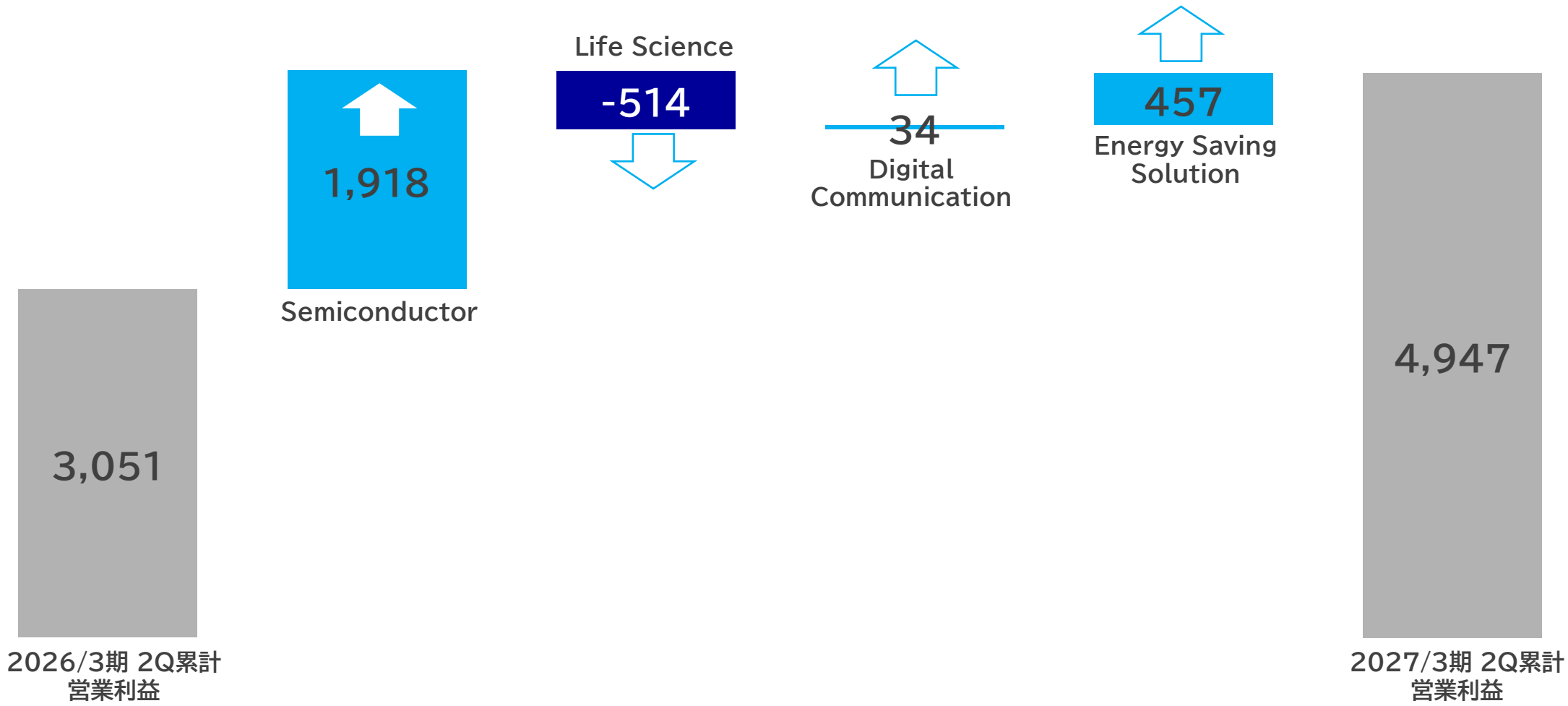
	2026/3期 2Q累計実績	2027/3期 2Q累計実績	増減	(参考) 上期計画
売上高	20,901	27,469	+31.4%	24,300
売上原価率	55.4%	53.1%	-2.3pt	53.0%
営業利益	3,051	4,947	+62.2%	3,900
営業利益率	14.6%	18.0%	+3.4pt	16.0%
経常利益	3,080	4,938	+60.3%	3,950
親会社株主に帰属する中間純利益	2,247	3,823	+70.1%	3,000
1株当り中間純利益	254.08円	422.93円	+168.85円	332.16円
期中平均レート(US$)	146.53円	160.01円	+13.48円	(計画レート) 150.00円

為替感応度(US$):売上高　約200百万円/年、営業利益　約150百万円/年

Copyright ©2026 ENPLAS CORPORATION, All rights reserved

営業利益の増減分析＜前2Q累計比＞

（単位：百万円）



Copyright ©2026 ENPLAS CORPORATION, All rights reserved

2027年3月期　第2四半期セグメント別実績(連結)

(単位: 百万円)

		2026/3期 2Q累計実績	2027/3期 2Q累計実績	増減
Semiconductor	売上高	10,685	17,642	+65.1%
	売上原価率	47.0%	48.2%	+1.2pt
	営業利益	2,279	4,197	+84.2%
	営業利益率	21.3%	23.8%	+2.5pt
Life Science	売上高	2,620	566	-78.4%
	売上原価率	62.6%	58.8%	-3.8pt
	営業利益	536	21	-95.9%
	営業利益率	20.5%	3.9%	-16.6pt
Digital Communication	売上高	786	1,006	+28.0%
	売上原価率	55.5%	43.4%	-12.1pt
	営業利益	-151	-116	-
	営業利益率	-	-	-
Energy Saving Solution	売上高	6,808	8,253	+21.2%
	売上原価率	65.8%	64.5%	-1.3pt
	営業利益	386	844	+118.4%
	営業利益率	5.7%	10.2%	+4.5pt

Copyright ©2026 ENPLAS CORPORATION, All rights reserved

連結四半期損益実績推移

（単位：百万円）

	2026/3期			2027/3期	
	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
売上高	11,901	11,473	10,166	12,572	14,896
売上原価率	55.2%	52.2%	55.2%	51.5%	54.5%
営業利益	2,145	2,149	963	2,329	2,618
営業利益率	18.0%	18.7%	9.5%	18.5%	17.6%
経常利益	2,255	2,297	1,104	2,404	2,534
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,884	1,629	1,357	1,782	2,040
1株当り四半期純利益	212.93円	182.78円	150.72円	197.30円	225.62円

Copyright ©2026 ENPLAS CORPORATION, All rights reserved

参考:セグメント別四半期損益実績推移(連結)

(単位: 百万円)

		2026/3期			2027/3期	
		2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
Semiconductor	売上高	5,797	7,166	5,751	7,878	9,763
	売上原価率	45.7%	45.0%	48.4%	44.8%	50.9%
	営業利益	1,412	1,880	815	2,012	2,185
	営業利益率	24.4%	26.2%	14.2%	25.5%	22.4%
Life Science	売上高	2,104	262	200	276	289
	売上原価率	62.9%	72.3%	63.5%	63.3%	54.5%
	営業利益	546	-51	-52	7	14
	営業利益率	26.0%	-	-	2.9%	4.8%
Digital Communication	売上高	365	383	481	457	548
	売上原価率	58.6%	42.4%	52.3%	51.8%	36.5%
	営業利益	-107	-10	-122	-121	4
	営業利益率	-	-	-	-	0.8%
Energy Saving Solution	売上高	3,634	3,661	3,731	3,959	4,294
	売上原価率	65.6%	66.1%	65.6%	63.9%	65.0%
	営業利益	294	331	323	430	414
	営業利益率	8.1%	9.0%	8.7%	10.9%	9.6%

Copyright ©2026 ENPLAS CORPORATION, All rights reserved

決算総括

➢ 販売管理費

（単位：百万円）

2026/3期 2Q累計	2027/3期 2Q累計	差 異
6,268	7,923	+1,655

- ➢労務費 +384百万円
- ➢コンピューター費 +156百万円
- ➢研究開発費 +199百万円
- ➢減価償却費 +414百万円（うち、ソフトウェア償却費 +218百万円）
- ➢その他経費 +285百万円（うち、引っ越し費用 +218百万円）

➢ 営業外損益

（単位：百万円）

2026/3期 2Q累計	2027/3期 2Q累計	差 異
29	-8	-37

- ➢2027/3期 2Q累計：為替差損 207百万円（2026/3期 2Q累計 為替差損 69百万円）

Copyright ©2026 ENPLAS CORPORATION, All rights reserved

中期経営計画 -2nd roll-（4月からの変化点）

Copyright ©2026 ENPLAS CORPORATION, All rights reserved

中期経営計画 -2nd roll-（4月からの変化点）

期初の想定を上回るスピードで外部環境が進展

AIの社会実装が期初の想定より前倒しで進み、2029/3期　財務目標の水準を達成予定

2026年4月時点

市場を捉える起点

データトラフィック量の増加

・AI半導体投資の継続
・データセンター関連の新領域の成長

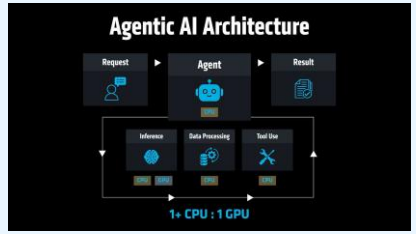
2029/3期　目標（4月時点）

売上高（百万円）	営業利益（百万円）	ROE
55,000	10,000	10.0%以上

現時点

足元で顕在化した変化

・半導体市場の見通しが4月時点から切り上がった
・AI半導体に需要と投資が集中（CPU、GPU、ASIC）
・AIエージェントの普及を背景に、CPUの需要が増加
・ハイパースケーラーの投資が加速



出典：AMD

2027/3期　業績見通し（10月時点）

売上高（百万円）	営業利益（百万円）	ROE
55,000	9,000	10.7%

AIの社会実装が期初想定を上回るペースで進展
成長領域に注力する当社の事業機会はさらに拡大

Copyright ©2026 ENPLAS CORPORATION, All rights reserved

AIの進化と技術トレンド

	2026	2027 → 2028
AI	**生成AI** 学習から推論へ需要がシフト	**AIエージェント / フィジカルAI** AIの社会実装（自律実行・実世界で動作）
CPU / GPU	**GPU中心（1 CPU : 4～8 GPU）** 3nm世代 / HBM4	**CPU・ASICへ多様化（1+ CPU : 1 GPU）** 2nm以細 / エージェント処理でCPU需要拡大
先端パッケージ	**CoWoS・チップレット** FT・BI中心のテスト	**CoPoS・ガラス基板** 大型化・多ピン化 / SLT導入が拡大
光通信	**光トランシーバー** 1.6T量産	**光電融合（NPO・CPO）および高速光通信（XPO）** 3.2T～12.8T / 光と電気をチップ近傍で一体化
無線・アンテナ	**5G / 有線接続** サブ6GHz・基板実装アンテナ	**ミリ波・テラヘルツ帯 / 6G** 無線接続・センシング・フェーズドアレイ
熱マネジメント	**空冷中心** ヒートシンク・ファン	**液冷（サーマルマネージメントデバイス）** チップ直結冷却で発熱・消費電力に対応
ディスプレイ	**OLED / Mini LED TV** 白色・青色バックライト＋QD	**RGB LED TV** RGB独立発光で高色域・高輝度
ロボティクス	**産業用・協働ロボット** 減速機などハードは確立、定型作業の自動化	**フィジカルAI実装による生産性革新** 関節の自由度・センサー融合・高速通信が性能を左右

*NPO（Near-Packaged Optics）：光エンジンをスイッチ近傍に実装　CPO（Co-Packaged Optics）：光エンジンをスイッチと同一パッケージに実装　XPO（eXtra-dense Pluggable Optics）：高密度プラガブル光モジュール　CoPoS：パネル基板を用いた次世代パッケージ　FT：ファイナルテスト　BI：バーンイン　SLT：システムレベルテスト

AIの社会実装に向け、高速化・低消費電力化・発熱対策の技術革新が各領域で進む

Copyright ©2026 ENPLAS CORPORATION, All rights reserved

2027年3月期の事業進捗と今後の事業機会

	事業進捗 （2027/3期）	今後の事業機会 （技術トレンドとの結び付き）	収益力の向上 （営業利益率）
Semiconductor	• 成長市場（GPU・CPU・ASIC、車載SoC）で事業拡大	• 技術トレンドの変化（多ピン化・大型化・複雑化）により、市場成長を上回る事業機会 • システムレベルテスト領域へ参入 • 生産プロセス最適化による収益性の向上	現状 20%+ ▼ 目標 30%+
Digital Communication	• 1.6T光トランシーバー用レンズの量産開始 • 液晶テレビ市場の低迷	• 光電融合（NPO・CPO）および高速光通信（XPO）による光接続の高密度化に対応した光学部品 • RGB LED TVへの移行に伴う新規レンズ需要	現状 ±0% ▼ 目標 30%+
Energy Saving Solution	• ギヤソリューションビジネスの拡大による収益力向上	• 高収益ギヤソリューションビジネスの推進（カスタム品から標準品への入替） • フィジカルAI実装による新たな事業機会 • 自動化・省人化、ホットランナーの対応範囲拡大による収益力向上	現状 10% ▼ 目標 20%+
Life Science	• ライフサイエンス市場の低迷	• 農業・創薬への領域拡大 • 微細加工技術の細胞検査市場への横展開	現状 0% ▼ 目標 20%+
新規事業	• レンズアンテナのサンプル販売機会の増加 • 将来を見据えた顧客との共創パートナー化	• 新たな通信領域（光電融合・アンテナ・センシング）向けソリューション製品の上市 例：レンズアンテナ（6G・高周波センシング）、サーマルマネージメントデバイス（AIサーバー液冷）	-

※ 営業利益率の現状は2027/3期 2Q累計、目標は中期的に目指す水準

技術トレンドの変化を捉え、市場成長を上回る成長と収益力の向上を実現する

Copyright ©2026 ENPLAS CORPORATION, All rights reserved

2027年3月期　業績見通し

Copyright ©2026 ENPLAS CORPORATION, All rights reserved

2027年3月期　連結業績見通しの前提

連結業績

- 下期事業計画レート(US$):150.00円(期初想定から変更なし)
- 成長投資加速、積極的な人的投資による販管費の増加
  (4月時点:15,800百万円　→　10月時点:16,800百万円　※一時的な費用を含む)
- 配当予想:年間90.00円　→　120.00円(増配)

Semiconductor事業

- 下期の売上高は上期と同水準を想定
- サーバーは好調が継続、車載SoCは下期好調、モバイルは低調な見通し

Life Science事業

- 期初想定から変更なし

Digital Communication事業

- Network Solutionは、レンズコネクタ関連の新規製品の立ち上げ遅れにより、減収の見通し
- Display Solutionは、液晶テレビ市場の停滞により、減収の見通し

Energy Saving Solution事業

- 自動車用部品は、当社が注力する低騒音・高効率ギヤソリューションビジネスの拡販により好調が続く見通し

Copyright ©2026 ENPLAS CORPORATION, All rights reserved

2027年3月期　連結業績見通し

（単位：百万円）

	2026/3期	2027/3期(10月時点)			(参考)2027/3期	
	通期実績	上期実績	下期予想	通期計画	4月時点	増減
売上高	42,540	27,469	27,531	55,000	48,000	+14.6%
売上原価率	54.5%	53.1%	53.0%	53.1%	53.7%	-0.6pt
営業利益	6,164	4,947	4,053	9,000	6,400	+40.6%
営業利益率	14.5%	18.0%	14.7%	16.4%	13.3%	+3.1pt
経常利益	6,482	4,938	4,161	9,100	6,500	+40.0%
親会社株主に帰属する当期純利益	5,233	3,823	3,177	7,000	5,000	+40.0%
1株当り当期純利益	587.90円	422.93円	351.24円	773.96円	553.60円	+220.36円
配当金	90.00円	60.00円	60.00円	120.00円	90.00円	+30.00円
期中平均レート(US$)	150.94円	160.01円	150.00円	155.00円	150.00円	+5.00円

Copyright ©2026 ENPLAS CORPORATION, All rights reserved

2027年3月期　セグメント別売上見通し

（単位：百万円）

	2027/3期	2027/3期	
	2Q累計実績	4月時点の見通し	10月時点の見通し
Semiconductor	17,642	29,000	35,500
Life Science	566	1,000	1,000
Digital Communication	1,006	3,000	2,500
Energy Saving Solution	8,253	15,000	16,000

Copyright ©2026 ENPLAS CORPORATION, All rights reserved

参考:2027年3月期　設備投資・減価償却・研究開発の見通し

（単位：百万円）

	2026/3期 通期実績	2027/3期 2Q累計実績	2027/3期 通期計画
設備投資	7,091	7,032	13,000
長期投資・環境投資	3,796	5,494	7,000
成長分野への投資	1,939	862	4,000
その他の設備投資	1,356	676	2,000
減価償却	2,390	1,587	3,000
研究開発	1,698	988	2,000

※2026年4月30日時点の見通しから変更しておりません。

Copyright ©2026 ENPLAS CORPORATION, All rights reserved

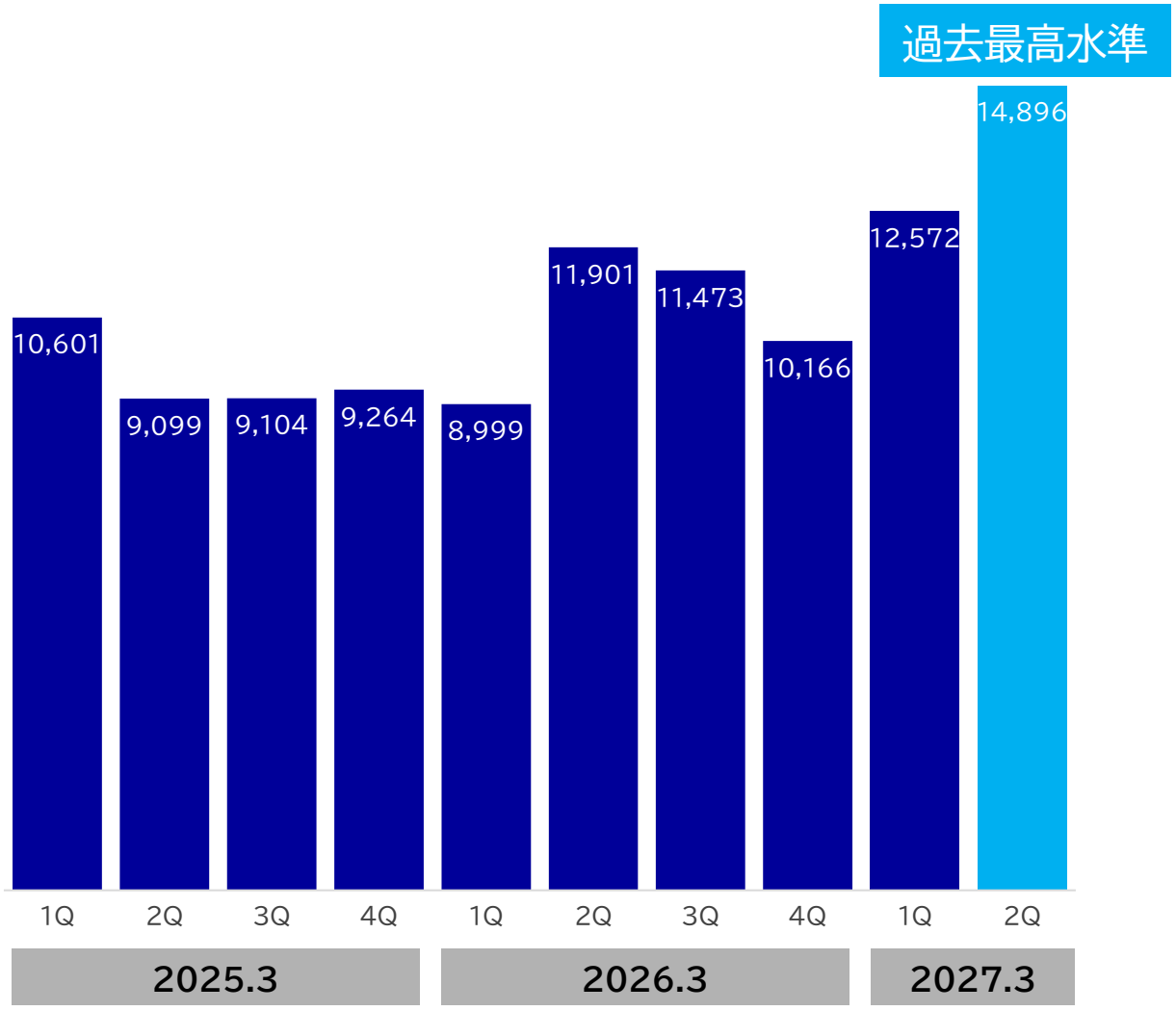
参考資料

Copyright ©2026 ENPLAS CORPORATION, All rights reserved

参考：連結四半期損益実績推移

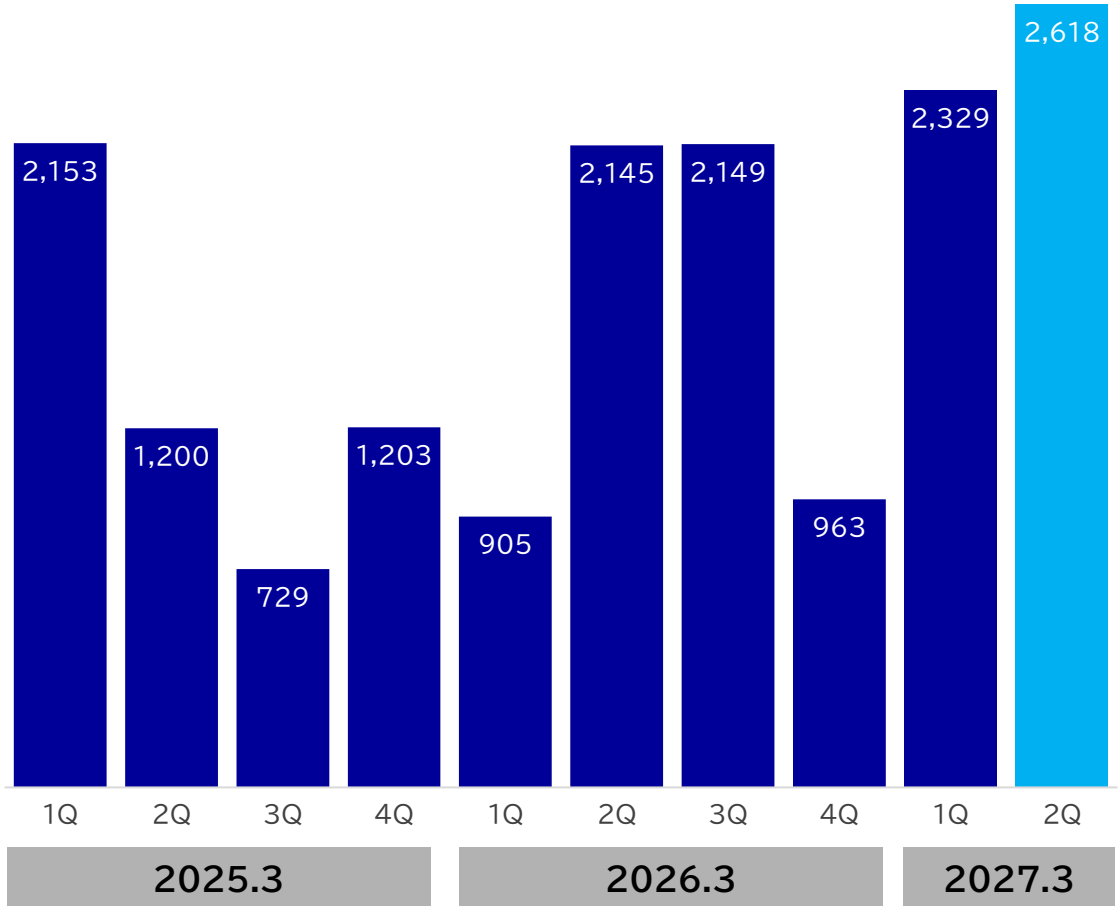
＜売上高の推移＞

（単位：百万円）



＜営業損益の推移＞

（単位：百万円）

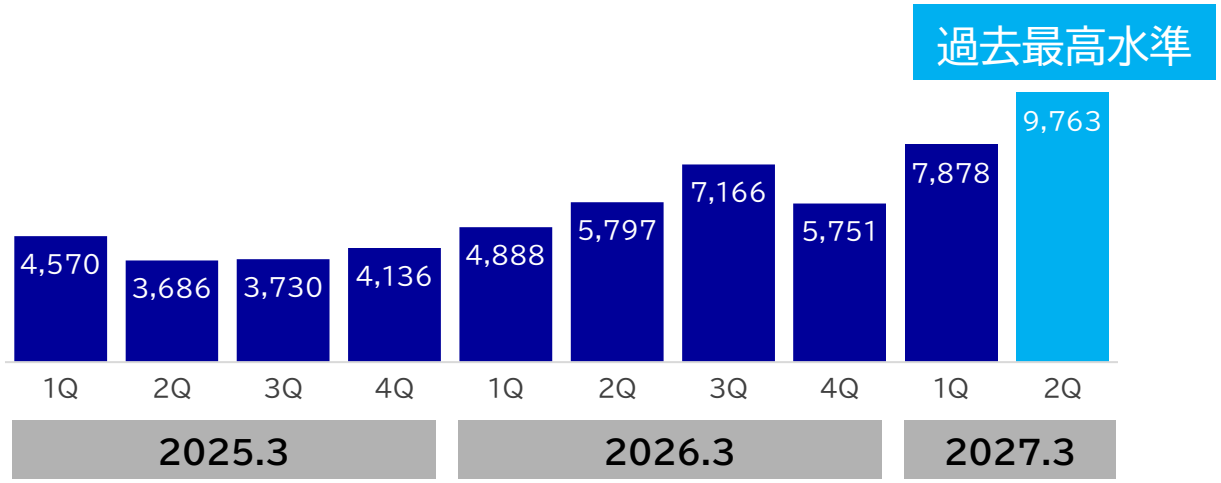


Copyright ©2026 ENPLAS CORPORATION, All rights reserved

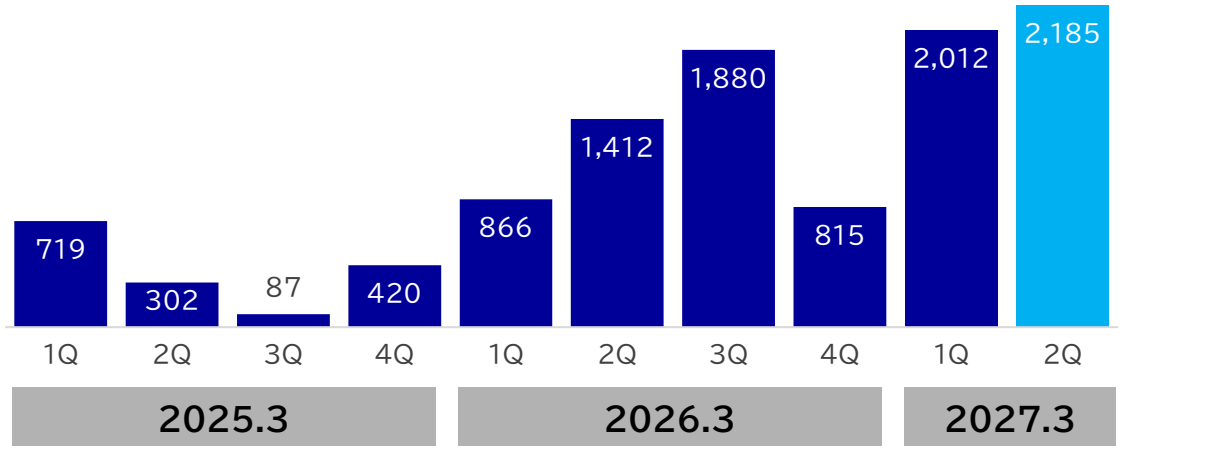
参考：セグメント別四半期損益実績推移（連結）

Semiconductor

＜売上高＞　（単位：百万円）

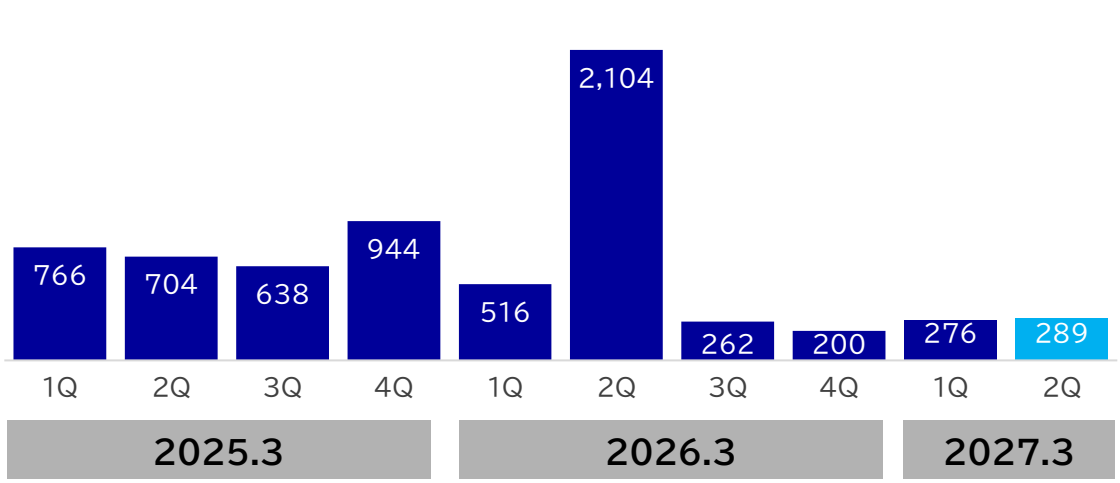


＜営業損益＞　（単位：百万円）

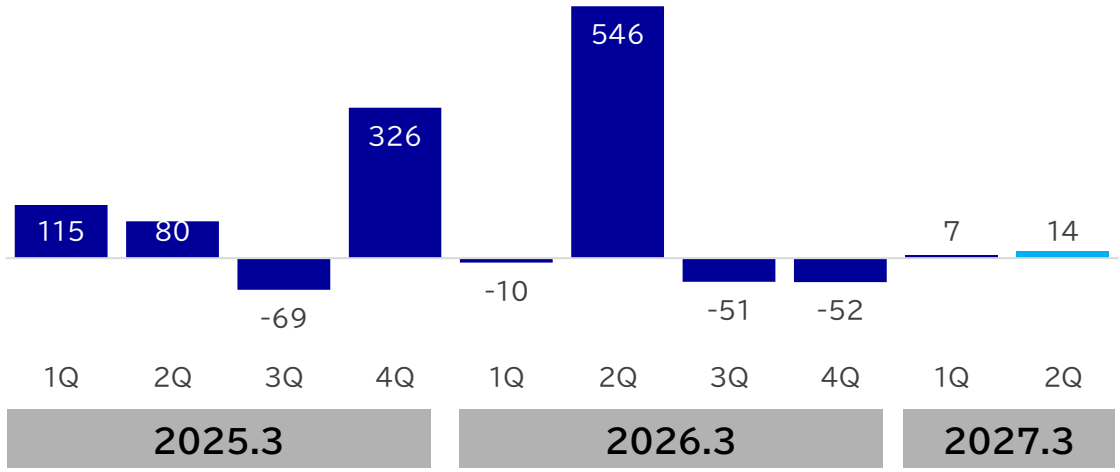


Life Science

＜売上高＞　（単位：百万円）



＜営業損益＞　（単位：百万円）

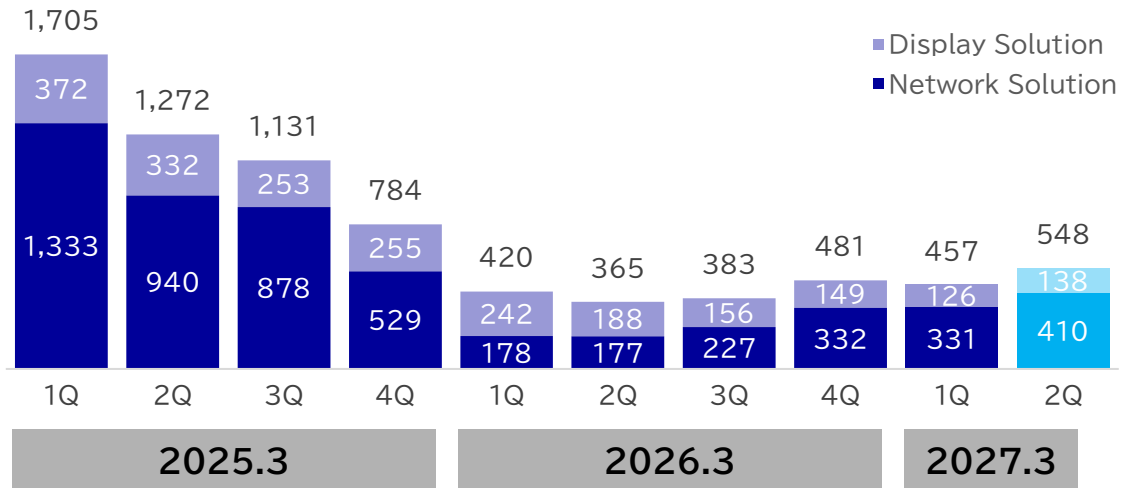


Copyright ©2026 ENPLAS CORPORATION, All rights reserved

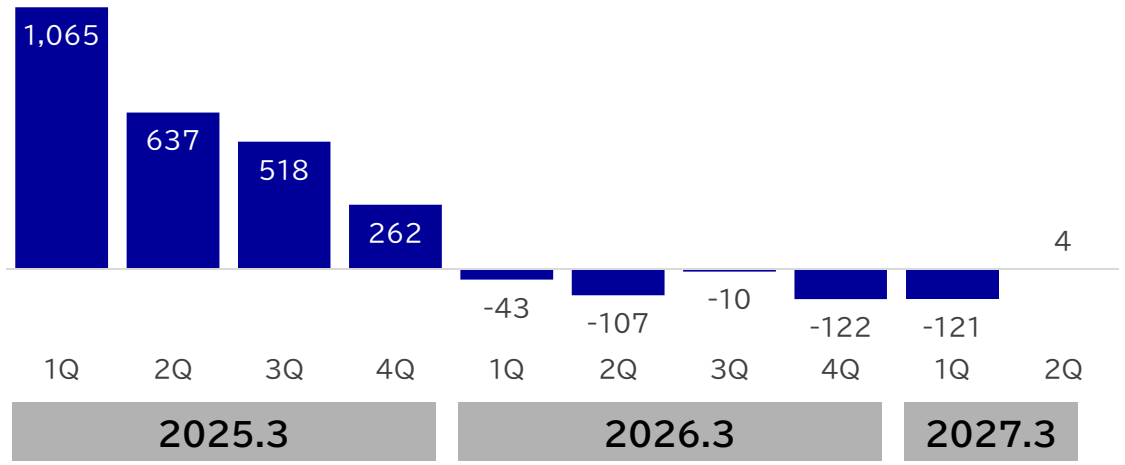
参考：セグメント別四半期損益実績推移（連結）

Digital Communication

＜売上高＞　（単位：百万円）



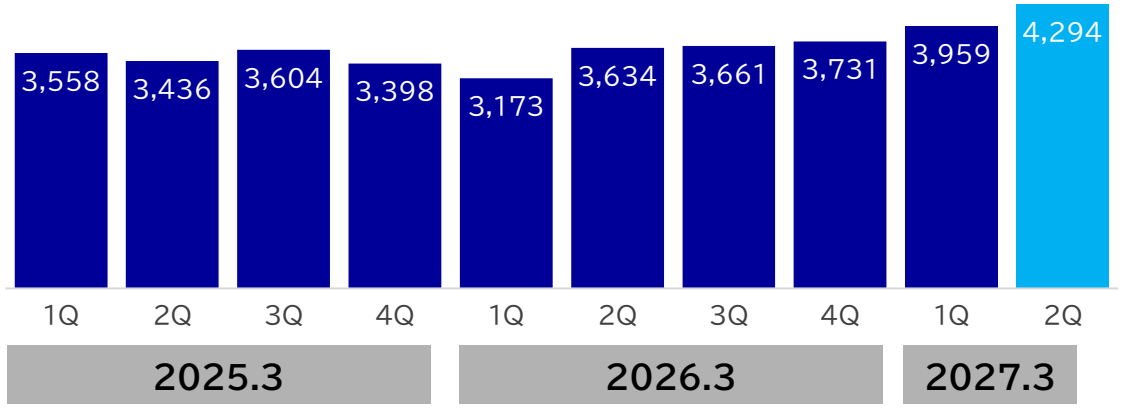
＜営業損益＞　（単位：百万円）



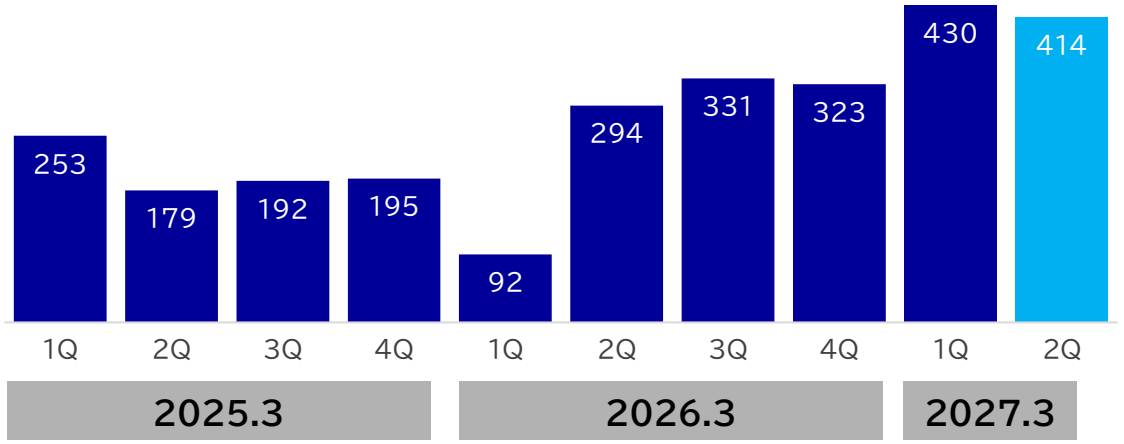
Energy Saving Solution

＜売上高＞　（単位：百万円）

過去最高水準



＜営業損益＞　（単位：百万円）



Copyright ©2026 ENPLAS CORPORATION, All rights reserved

株式会社エンプラス　決算説明会
https://www.enplas.co.jp/
（東証プライム　6961）

本資料で記述されている業績見通し並びに将来予測は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した見通しであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。
そのため、さまざまな要因の変化により、実際の業績は記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。

Copyright ©2026 ENPLAS CORPORATION, All rights reserved